

読書の動機づけ指導

武蔵野市立図書館 編



実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 小学校3年生
2	実施時期 : 5月下旬～6月上旬
3	概要 : 昭和42年から実施している事業。より多くの子どもたちが読書を好きになってもらいたいという願いからはじまった。市立小学校3年生を対象として、各クラスでブックトークと図書館の紹介を行う。
4	<p>内容</p> <p>市立小学校3年生の全クラスに、図書館員と講師1名（児童文学者や元教員等全6名）とで、絵本・読み物・科学物・詩の本等全30冊程度（1年間かけて図書館員と教員、講師で選定）を持参し、約1時間をかけ図書館の紹介もまじえながらすべての本を紹介する。</p> <p>その後、それらの本をクラスに贈呈し、1年間かけてクラスで読んでもらう。</p> <p>また、その時間の後に、保護者（見学に来ている）と講師・図書館員で子どもの読書に関する日頃の疑問、悩みなどを話し合う懇談会の時間をもっている。</p> <p>また、図書館でも読書指導の本を複本で用意し、貸出を行っている。</p> <p>実施後は、児童・担任教師・講師を対象として、アンケート調査を行い、どの本に人気があったかなどの傾向を把握し、次年度の図書選定の参考としている。</p>
5	<p>参加者の反応</p> <p>長年続いている事業でもあり、子ども達にも、学校にも好評である。</p> <p>読書指導後は、図書館に来る児童も増え、図書館への興味関心の啓発という意味でも、大変効果が大きいと感じる。</p>
6	<p>連携した諸機関</p> <p>市立小学校</p>